

(お知らせ)

柏崎刈羽原子力発電所屋外建設機械からの発火に関する原因と対策について

平成 21 年 9 月 9 日
東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

平成 21 年 8 月 31 日午前 9 時 2 分頃、荒浜側放水口付近（屋外）において、作業中の屋外建設機械（地盤改良機）から発火したことから、協力企業作業員がただちに消火器により消火を行うとともに消防署へ通報いたしました。

その後、午前 9 時 30 分に消防により鎮火が確認されました。

なお、本事象による負傷者および外部への放射能の影響はありません。

（平成 21 年 8 月 31 日お知らせ済み）

本日までに、原因調査の結果と再発防止対策がとりまとめられましたので、以下のとおりお知らせいたします。

1. 発火の原因

調査の結果、発火した原因を以下のとおり推定いたしました。

- ・ 8 月 29 日の作業終了時において、協力企業作業員が、地盤改良機のコントロールボックス^{*1}を、雨に濡れるのを防ぐために、地盤改良機のエンジンユニット内にあるバッテリーの上に収納した。
- ・ 8 月 31 日の作業開始時において、当該コントロールボックスをバッテリーの上に置いた状態で地盤改良機を移動させたため、バッテリーのプラス側の端子とコントロールボックスが接触して導通し、コントロールボックスと燃料ホース^{*2}の間でスパーク（火花）が発生して燃料ホースが溶け、燃料ホースから軽油（燃料）が漏出し、発火した。

2. 今回の発火への対策

今回の発火に対して、当社ならびに協力企業において以下の対策を実施いたします。

- ・ 当社は、協力企業に対して、火災発生リスクを伴う工事用機械に関する、作業前点検チェックシートに安全上・火災防止上の重要なポイントをチェック項目として追加して、そのチェックシートに基づいて点検することを要求し、その実施状況を確認します。
- ・ 協力企業は、火災発生リスクを伴う工事用機械を使用する作業員に対し、取扱説明書等に基づき、安全上・火災防止上の重要なポイントについて必要な教育を実施します。

- ・ 今回の事象を教訓として、作業開始前の安全確認において、火気作業および危険物取扱作業ではない場合でも、「火災」をキーワードの一つとして取り上げ、複数の目でチェックを行い、防火対策の有効性を向上させるよう取り組んでまいります。

当社は、今回の事象を受けて、バッテリーの上に物を置いた時に短絡火災の危険性があることを作業員に認識させるよう、協力企業各社に対し周知徹底を行いました。

また、当社ならびに協力企業各社は、工事用機械について機械の内部に異物がないか、周囲に可燃物がないか等を確認する総点検を9月3日に実施し、使用に際して問題のないことを確認いたしました。

当社といたしましては、今後も引き続き、協力企業各社の現場パトロールなどにおいて、作業前点検が確実になされていることを確認してまいります。

* 1 地盤改良機のコントロールボックス

金属製の箱で、地盤改良作業を行う際に運転席脇の所定のケーブルに接続し、地上で作業状況を確認しながら操作を行うもの。

* 2 燃料ホース

エンジンに軽油（燃料）を供給する、または余剰の燃料を燃料タンクに戻すゴム製の筒で、筒の外側はメッシュ状の金属に覆われている。

以 上



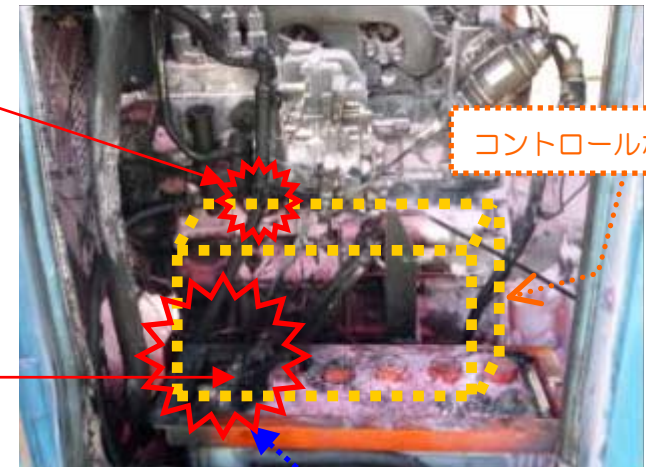
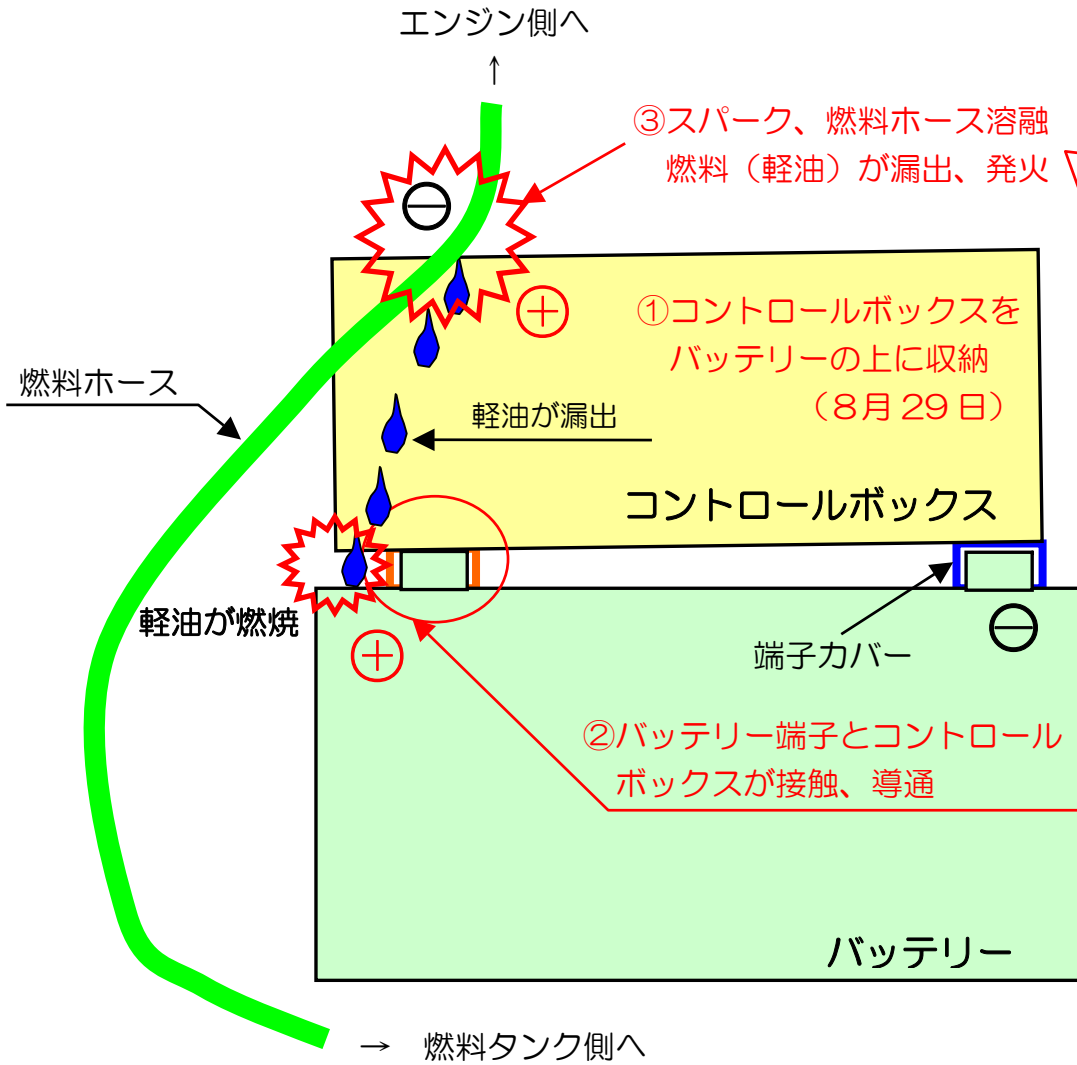
火災発生場所



地盤改良機（外観）

発火原因推定図

概念図



燃料ホース概念図

(断面図)

